



ハワイ便り

ローカル発・シニアのための最新情報

スポーツも人生も後半戦がおもしろい・ハワイで過ごすアクティブライフ！

発行：ハワイシニアライフ協会

Hawaii Senior Life Enrichment Association(HISLEA)

info@hawaiiseniorlife.org Tel: (808) 428-5808 Fax: (808) 396-1140 P.O. Box 25355, Honolulu, HI 96825-0355

2009年12月号 (Vol.26)

ホノルルマラソンの応援をしましょう!!

「12月のイベント予定」でご案内しましたが、12月13日(日)行われます第37回ホノルルマラソンの応援をしませんか。当協会では、4000～5000人分のキャンディ、オレンジなどを用意して、トップランナーではなく、その後の懸命に走ってくる方々を応援します。◆日時:ハワイカイ(Hawaii Kai Dr.からKeahole St.に右折してセーフウェイ(ハワイカイショッピングセンター内)の斜め向かいのあたり◆時間:午前7時頃～11時頃(適当な時間にお越しください)◆駐車:ハワイカイショッピングセンター内(ワイキキ方面の方はPali Hwy 経由で来たほうが良いかもしれません。)声を掛けたり掛けられたり、感動のひと時をお過ごしください。

……支部活動活発に……

第3回アロハ会(日本支部) 11月3日

日本支部長 馬場 弘人さん(会員、理事)

11月3日(文化の日)に高輪「東京アメリカンクラブ」に於いて、今回も120名様のご参加で大変盛り上がりしました。ハワイ本部からこの大イベントのために、坂井会長他、野田さん、石毛さん、下吉さんもわざわざ駆けつけていただきました。そしてハワイからの会員も。国内各地からは関東地方の方に加え、岩手、石川、群馬、名古屋、大阪、広島、愛媛等の遠方からご参加賜りました。

会場の高輪「東京アメリカンクラブ」は日頃、中々利用できない場所で、窓越しに見える素晴らしい庭園と重厚で高貴な？雰囲気、参加者の皆様に大好評でございました。

何時もの清々しい家倉さんの司会で、まずは恒例の坂井会長の挨拶 スポーツも人生も後半戦が面白い！に始まり、活動状況、方針、ボランティアの皆様へのお礼、今後の展開、お願い等で約30分。最後にハワイシニアライフ協会は①人と競争しない②人を羨ましがらない③お金に振り回されない、を信条とする方々の集まりと。これを実行するのは中々難しい？

楽しい語らいと食事、飲物を楽しんだ後、当協会顧問の大山廉平先生(東京都済生会渋谷診療所所長)による各種癌のお話「癌なんて怖くない！」。先生得意の？駄洒落を交えた講演に皆さん熱心に耳を傾けておられました。

その後、会場の紹介をいただいたサチ ブレーデンさんによるご挨拶、植野雅子さんの歌と語り感動。

そして自己紹介タイム。今回は遠方からご参加の会員の方々に限定して、それぞれの「私のハワイ、私のハワイ感」をご披露いただき、皆さん熱心に耳を傾けておられました。

最後にお楽しみ抽選会！今回も法人会員の皆様を中心に沢山の賞品をご提供いただき、厚くお礼申し上げます。

(遠方から参加された皆さんのショートスピーチ)



第1回 HISLEA 日本支部ゴルフ懇親会 11月4日

日本支部長 馬場 弘人さん(会員・理事)

会場は通常の日本のゴルフ場では皆さん物足りない?という事で、田中理事に特別にお願いして、日頃中々プレイ出来ない「米軍多摩ヒルズゴルフクラブ」に皆様パスポート持参で坂井会長以下30人(8組)が集い、快晴の下熱戦?を繰り広げました。会を盛り上げるべく、岩手からご参加の蛇沢さんの奥様恵明子さんに始球式をお願いし見事なナイスショットで幕を開けました。

皆様和気藹々プレイを楽しんだ後、ハワイムードのクラブハウスで美味しいアメリカンビーフを食べながらの表彰式、懇親会に移り、楽しい時間となりました。毎度の自己紹介タイムも皆さんのゴルフ自慢?で時間が足らず仕舞いでした。賞品のご提供も沢山あり、全員に漏れなく行き渡りました。優勝者には、会員の太嶋さんからご提供の豪華パターを。同時にアンケートも集計しましたが、参加者全員から当ゴルフ場の設定が良く、又是非プレイしたいとの声がありました。回数としては年に2回はゴルフ懇親会を実施して欲しいと、皆さんご満足の様子でした。

第1回H I L S E A関西地区会員懇親会 11月29日

岸本 康哉さん(会員・関西地区支部長)



11月29日(日)小春日和の昼下がり、紅葉が美しい御堂筋の心斎橋「ホテル日航大阪」で、初の関西地区会員懇親会が開催されました。遠く北陸福井、四国香川、中国広島からも駆けつけてくださり総勢33名が時間の過ぎゆくのも忘れ、料理長おすすめ中華料理フルコースを愉oshimしました。

冒頭、馬場弘人日本支部長からご挨拶を受け、2年で約800名会員獲得にはタダタダ驚くばかり、本協会が着実に発展し会員の皆様に愛される組織に前進していることに感激しました。

懇親会は和気あいあいとハワイの情報交換を活発にされていました。自己紹介タイムには「家族がグリーンカードを苦勞して取得された事例紹介」「コンドミニアム購入や利用ノウハウ」「マウイがなぜ好きなのか」「ハワイゴルフ情報」「初のホノルルマラソン参加」等々・・・皆さん個性豊かな話しぶりに大いに盛り上がりました。

関西もこれを契機に年に1~2回、関西支部会員懇親会をもち「ハワイ大好き仲間同士だからできる楽しい集い」にすることを誓い閉会しました。(11月現在関西地区会員60名)

☆☆☆

その他、ハワイ島コナ支部でも第1回定例ゴルフ大会が11月22日に開催され、マウナラニリゾートの素晴らしいコースを格安で楽しい一日を過ごしました。来年からは、毎月1回開催の予定です。

各地区で、イベントの企画がありましたら、「ハワイ便り」「イベント予定」で告知をさせていただきますのでご利用ください。原稿をEメールにて下記をめぐにお送りください。(送付先:kaiho@hawaiiseniorlife.org)

「ハワイ便り」(毎月1日発行)に掲載の場合 : 前月20日頃までに

「イベント予定」(毎月15日発行)に掲載の場合: 当月5日頃までに

感謝祭ディナー(昼食会)に参加して 11月16日

池端恵子さん(会員)

今年リタイアしてハワイシニアライフ協会に5月に入会しました。昨年までは何度かハワイに来て仕事も仕事の接待と観光のみで、いつかロングステイを夢見ていました。会員の恒川さんのおかげでようやくハワイ生活に到達しまして、後半の人生目標を持って東京とホノルルを生活圏に決めました。

今日も初めての感謝祭にお招きいただきまして、会員の牧師様のアメリカパイオニアのお話をお聞きし有意義な歴史と、伝統的な美味しいターキーとパンプキンのお料理を満喫いたしました。お互いの慣習や食事の違いなどそれぞれあっても心を通わせることはひとつですので、学びながらハワイにも慣れて生活の一部にするつもりでいます。次回は、5月に戻ってきます。その時は、リボンレイの個人授業を受けようと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。

ハワイアナ

ホノルル ハレ

浅沼正和さん(ビショップ博物館ボランティアガイド)

師走。年間温度差の少ない南の島でも、早くなった日暮れ時に冬を感じます。そして、米本土や欧州同様、クリスマスを祝う飾りつけや電飾で華やかな気分になる時期でもあります。「ホノルル ハレ」と呼ばれる市

庁舎の前庭に毎年運ばれてくる大きなモミの木と広場を埋め尽くす飾りつけは、子供ばかりでなく観光で訪れる人々も多いに楽しめる夢いっぱいの光景です。毎年十二月第二日曜日にはホノルルマラソンの多くの選手が、遅い夜明けのまだ明けやらぬうちに、クリスマスの飾りつけで輝くダウンタウンと市庁舎前を駆け抜けて行きます。市庁舎の海側には、十九世紀半ばに珊瑚の石で造られたカワイアハオ教会が美しい姿で建っています。「ハレ」はハワイ語で家、祈りは「プレ」と云いますので、教会は「ハレ プレ」。1820年に宣教師が来島した後、急激に西欧化していく王朝時代を思い起こし、市庁舎周辺を散策しては如何でしょうか。 写真はキングとパンチボール通りの交差点付近の光景



◇ ◇ ◇

日本語クリニック「ワイキキ緊急医療クリニック」

堀育史院長

会員証を提示すると、初回無料相談、血圧測定、滞在中のアドバイス、専門医の紹介等を受けられます。

Bank of Hawaii Bldg. 3階 ☎ (808)924-3399

名医による無料健康相談(Eメールによる) 大山廉平ドクター(会員・顧問/東京都済生会渋谷診療所所長)

ご希望の方は、①姓名、②会員番号、③返信用 E メールアドレス、④病歴、⑤相談内容を下記メールアドレス宛お送りください。 oyama@saichu.jp

◇ ◇ ◇

ご寄付をいただきました。会の活動資金として活用させていただきます。

(\$ 200 以上) 宇田芳秀・慧子様 (\$ 100 以上) 柳井定人・靖子様 (\$ 50 以上) 大山廉平・納理子様、
野田省三・治江様、松本信義・美恵子様、武田幹雄・裕美子様、(\$ 50 以内) 長山勉・恭子様、
高井雅央・とみこ様、井上克央様、丸山保夫様、大村直己・順子様

ありがとうございました。

Mahalo

(編集担当:インフォメーションコミッティ/石毛克祐)

「ハワイ便り」「イベント予定」に関するご意見、ご感想、投稿・・・ kaiho@hawaiiseniorlife.org

イベントのお申し込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ event@hawaiiseniorlife.org

一般的な事務局へのご連絡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ info@hawaiiseniorlife.org

インフォメーションセンター

場 所: ワイキキビジネスプラザ 11F (2270 Kalakua Ave)

電 話: (808)428-5808

電話対応: 毎日 午前9時～午後5時(日本時間:午後2時～午後10時)

イベント申し込み等ご利用ください・事故、病気等緊急の際は24時間電話相談受付(5時以降は緊急相談のみ)

シニアライフ・カフェ

場 所: ワイキキ免税店の隣、カプチャーノカフェ内 **会員ディスカウントあり。**

毎 日: 09:30～24:00(年中無休) 電 話: 921-3536(担当:鎌田さん)

内 容: 国際電話(10分1ドル)、インターネット(30分3ドル) 日経、朝日、スポーツ新聞、週刊誌
等用意。ソフトドリンク、食事(日本の家庭料理/11:00～23:00)、お酒等もあります。

シニア・サテライトサロン(会員証提示で10%割引)

場 所: ワイキキショッピングプラザ 1F 「MaHaLo Ocean Cafe」内

営業時間: 午前9時30分～午後9時30分 電 話: 926-5696

内 容: 100%コナコーヒー、静岡産緑茶・玉露、その他18種類のお茶(紅茶、ジャスミン、ウーロン他)を60種類のアンティークカップでお楽しみ。

毎月第4月曜日2時より「アフターヌーン・ティーの集い」を開催。おいしいデザートと飲み物とおしゃべりをお楽しみいただけます。

当協会の概要、入会案内: www.hawaiiseniorlife.org をご覧になるか、カタログをご請求ください。

会員便り / 伝言板

当協会は、個人情報保護の観点から、ご本人様の了解なく、電話番号、住所、Eメールアドレス等を他の方に開示することはしていませんので、ご理解とご協力をお願いします。

* * * * *

関西地区11月の例会は次のとおりです。

- 日時： 2009年12月11日(金)18時より ●場所： 魚料理「松留」(Tel: 06-6358-3350) 天神橋商店街2丁目(繁昌亭の商店街本通り) ●会費： お1人 4000円 (飲み物、お食事含み) ●申込期限： 12月10日(木)
- 申 込： 鈴木さんまで 携帯： 090-5892-8593 Eメール： asagiri0suzuki@ace.odn.ne.jp

◆セミナー「戦艦ミズーリー号のすべて」に参加して 11月13日 五味淳芳サン(会員)

シニアフライデー第2週「セミナーと情報交換」は、ミズーリー号の日本語ボランティアガイドで会員の山谷敏夫さんの話を伺いました。当日は会場が満席となり、用意したパンフレット類も予想以上の参加者で、同伴の方は1部でといわれるほどの盛況、先の大戦に対する会員の関心の深さはさすがシニアライフのメンバーと感じました。講師のお話で見学に来る日本の若者で、先の大戦のことも敗戦も知らぬ者がいるとは、時の流れとはいえ驚きでした。

ミズーリー号は米国最後の戦艦であり、戦中の昭和19年に進水し、20年3,4月の沖縄戦後太平洋、日本近海で活躍して終戦。9月2日、艦上にてマッカーサー元帥以下の連合軍と重光葵全権以下の日本政府代表との間で日本の降伏調印式が行われた由緒ある戦艦で、私もその時の印象は強烈に残っております。

調印式の写真の説明で、マッカーサー元帥の後ろに立っているパーシバル将軍(開戦後マレー半島を南下した日本軍にシンガポールを占領され、昭和17年2月15日山下奉文にイエスカノーか?と屈辱の降伏を迫られたイギリス軍司令官)の表情を見て、いかなる思いで列席しているのか、彼の心境を想像して胸に迫るものがありました。

山谷さんの話のはじめに、ミズーリー号を見学したことのある人と問われ、大勢の方が挙手しました。私もそのうちの1人です。あなた方は話を聞く必要はないのはいわれましたが、私はもっと詳しくミズーリー号の話を知りたくて来ましたので、この写真の説明を聞いただけでも良かったと思っています。他に戦闘中、艦の舷側に体当たりする直前の日本の特攻機の姿!! 当時は、いずれは死ぬものと覚悟させられていた軍人であった私には、涙の浮かぶ写真です。そして、この艦上で戦死した特攻隊員は、ミズーリー号艦長の命により星条旗に包まれて水葬により手厚く葬られたとのこと、本当に良い話が聞けたと思います。

ミズーリー号以外にも色々話をされた山谷さん、私同様軍歴を持った方で、何か共通するものを感じ、楽しく話を聞くことができました。これもハワイシニアライフ協会の会員であった賜物と感謝しています。

◆シャングリラと葛飾北斎富獄三十六景展特別ツアーに参加しました。 11月18日 恒川宮子さん(会員)

財閥デューク家のドリス デューク夫人が贅をつくして完成させた豪華な別荘 シャングリラ。シャングリラとは楽園の意味だとガイドさんから伺いました。室内はやたらとごちゃごちゃ宝物だらけ。まさかこんな所に本当に暮らしていたのではないでしょうね。私なら落ち着かなくてとても一日も暮らせないと思いました。

外部はとっても素晴らしかったです。庭の目の前に紺碧の海、気持のよい風が吹き込み、そしてプールまでの通路は、どこかで見た感じ、そう、タージマホールを思い出しました。

その後、参加者7名とホノルル美術館に戻り、モンキーポッドのあるテラスで美味しいランチをいただきました。

そして、待望の葛飾北斎富獄三十六景の鑑賞です。ホノルル美術館でも三十六景すべて展示されるということは珍しいそうです。お年を召した理事の方が生きている間に一度全てを観たいということで実現したそうです、一枚一枚がそれぞれ素晴らしかったです。本当に36枚かと数え直してみると、なんと46枚ありました。すべてゆっくり手で触れられるほどの目の前で観ました。私は富士山とダイヤモンドヘッドが大好きです。両方とも日本とハワイの象徴ですもの。

北斎展は1月3日まで開催中です。年末年始におられる方は、ぜひ観てください。

* * * * *